



桜蓮祭
合唱サークル

 新潟県立看護大学
Niigata College of Nursing

後援会だより

contents

- P.2 ● ごあいさつ
- P.3 ● 卒業式、旅立ちの言葉
- P.4 ● 桜蓮祭
- P.6 ● 学内活動の様子
- P.7 ● 学外活動の様子
- P.8 ● 学外活動の様子、年間カレンダー、お知らせ

vol.28
2018.3

ごあいさつ Greetings



新潟県立看護大学
学長 小泉 美佐子

年が明けて1月2月は久々の大雪にみまわれて、例年のことではありますが、雪が降り続かなか夜遅くまで国家試験の勉強に励んでいる4年生の姿がありました。その国家試験も滞りなく受験を済ませ、3月13日卒業式には96名が本学を巣立ちました。

さて、本学は大学院博士後期課程設置認可を文部科学省に申請していたところ、昨年8月にその認可を受け、この4月から開講の運びとなりました。学部・大学院博士前期課程（これまでの修士課程）・博士後期課程と一連の高等教育システムが完成したことを大変うれしく思い、より多くの卒業生が将来、本学大学院へ進学して欲しいと願っています。

今年度は、7年に1回の大学認証評価を受ける年にあたり、前年度に自己点検報告書を評価機関（大学基準協会）に提出して、10月に評価委員の方々が来学し、教員、学部生、大学院生のヒアリングを含めた実地調査がありました。概評では丁寧な学生支援体制、看護研究交流センターを発信基地とする地域住民、あるいは地域の看護職者に対する講座の開催、研究支援といった地域貢献の取り組みが高く評価されました。9月2日には、新潟県と上越市合同の防災訓練があり、訓練基地に本学キャンパスが使われ、建物倒壊の下敷きになり救護を受ける疑似体験をする学生参加もあり、将来救護に関わる立場から貴重な体験ができました。11月4日は学園祭【桜蓮祭】が開催され、「『輪』～地域を愛し、地域に愛される大学～」といったテーマのもと、「地域の方々に楽しんでもらえる学園祭にする！」との意気込みで、様々な企画を準備して、活気あふれる学園祭となりました。後援会のご支援、ご来場にご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。

ベトナム・ホーチミン医科薬科大学に続いて国際交流包括連携協定を締結したニュージーランド・クライストチャーチ工科大学において、3月に学生研修を行いました。国際的な視野とコミュニケーション能力の向上を期待して、これらの海外研修プログラムは「国際看護演習（選択科目）」として単位認定することになりました。

昨年4月に第3代学長に就任し、あつという間の1年を迎えようとしています。世の中の急激な変化に大学改革はまったなし。公立の単科の看護大学の魅力をいかに創りだせるか！31年度からの法人第2期中期計画策定に向けて正念場の年となります。

これからも引き続き大学に厚いご理解とご支援をお願いいたします。

平成30年3月吉日



卒業式

Graduation ceremony

旅立ちの言葉

新潟県立看護大学看護学部看護学科
卒業生代表

私たち、新潟県立看護大学看護学部看護学科十三期生 96 名は、この良き日に、無事に旅立ちの日を迎えることができとても幸せに思います。入学当初、自分の夢、目標を達成するために多くの先生方にお世話になったことを覚えています。右も左も分からなかった私たちにとって、先生方の支えはとて有り難いものであり、これまでの学生生活とは違う、大学という豊かさを感じました。身の引き締まる思いでスタートした学生生活は、何もかもが新鮮であり、先輩方とのサークルや学校行事を楽しみました。机での学びや実践的な看護演習が現実の看護とつながったのが領域別実習です。それまで漠然として捉えていた知識が、実際の患者さんへの援助を通して、目で見て肌で触れ、理解することができました。その一方で、自分の知識不足や技術の未熟さを痛感しました。はじめての患者さんに対して、どのように話しかけるべきなのか迷い、病衣交換の援助では、患者さんの袖を通すことさえも上手くできない自分の未熟さに落ち込むこともありましたが、そんな中でも、患者さんからの温かい言葉や笑顔に何度も救われ、失敗を重ねながら技術を磨くことができました。四年次では、総合実習や看護研究、就職活動、国家試験など、多くのことに追われ逃げ出したくなる時もありました。そんな時には、仲間が存在が大きな励みとなりました。十三期生は、個性様々であり、大変な時こそ笑って乗り越えようという明るい雰囲気と、ここぞという時の団結力があります。楽しい時もつらい時も、共に時間を過ごし、素晴らしい仲間たちと四年間過ごすことができたことを幸せに感じています。

看護現場において、患者さんは看護師が多忙であること、一人の患者さんだけではないことを知っています。しかし、一分一秒でも長く、自分だけの看護師であってほしいと願っています。看護の主役は患者さんであり、今の医療に求められているのは、効果の高い治療や薬、検査だけではなく、人間らしい温かい看護ではないかと思えます。患者さんと向き合い、訴えに耳を傾けることで、患者さんの本当の声が聞こえるということをお忘れずにしていきたいです。

晴れて卒業という日を迎えた今、私たちを支えてくださいました先生方や大学職員の皆様をはじめ、私たちを温かく見守り支えてくださった、多くの方々へ心より感謝申し上げます。不慣れな援助を受け入れ、私たちに学ぶ機会を多く与えてくださった患者さん、私たちに厳しく、時に温かく指導し、看護の道へと導いてくださった先生方、同じ志を持ち、共に学びあってきた仲間たち、そして、私たちの思いを尊重し、精一杯応援してくれた家族。すべての人々の支えがあったからこそ、充実した四年間を過ごすことができました。

私たちは今後、医療職としてそれぞれの道を進んでゆきますが、この大学の卒業生であるという誇りを胸に、日々努力を重ねていきたいと思えます。



優秀課外活動賞 よさこいサークル

町内会祭りや福祉施設などでの演舞により、地域住民との交流が認められました。



成績優秀賞



(成績優秀賞及び優秀課外活動賞には後援会から記念品を贈呈しました。)





第16回 桜蓮祭

Cultural festival

11月4日

第16回桜蓮祭を終えて



桜蓮祭実行委員長

今回は、平成 29 年 11 月 4 日に第 16 回桜蓮祭を開催しました。本年度のスローガンは「輪」～地域を愛し、地域に愛される大学～とし、日頃の勉強やサークル活動の成果を地域の方々に見てもらおうと様々な企画を行い各学生団体や教員と共に準備し実施しました。今年度も、スポンサーとなっていたいただいた数多くの企業の方々や後援会の皆様からのご協力により盛大な学園祭を開催できました。心より御礼申し上げます。

当日はあいにくの雨に降られましたが、昨年同様多くの方にお越しいただきました。

当大学ならではの企画として、災害看護サークルによるハンドマッサージ、四年生によるバイタルチェック、教員による「知って便利な在宅医療サービス」、「看護大生の簡単おいしいレシピ!みんなのレシピ」などが行われました。少しでも地域の皆様方に学生が学んでいること、頑張っていることを知っていただけたら嬉しく思います。

今年度の学園祭では「地域の方々楽しんでもらえる学園祭にする」というテーマのもと企画・運営をさせていただきました。そのため、新潟県出身で人気お笑い芸人のおばたのお兄さんに来ていただきました。おなじみのネタで会場は大盛り上がりでした。そして今年度もフレアパーテナーの KEIGO さんをお呼びしました。来場者を魅了する洗練されたパフォーマンスを披露していただきました。また、毎年行っている献血に加え、骨髄バンクのドナー登録の受付も行い、25 名の方がドナー登録をしてくださいました。ありがとうございました。今年は二年に一度の Miss NCN Contest も開催され、各学年の美女による素晴らしいショーでした。そのほかにもバンド、エアロビ、ダンス、よさこい、合唱サークルなどによるライブが行われ、多くの方が観賞されていました。他のサークルや事務、外部の企業の方々による模擬店もあり、活気あふれる桜蓮祭となりました。

特に大きな問題もなく、予定通りすべての企画が行われ、無事に終わることができ安心しております。ですが、反省することも多々あるため、来場者の皆様方に書いていただいたアンケートなどを活用し、来年度はより素晴らしい桜蓮祭になるように引き継いでいきたいと思っております。来場して下さった方々、協力して下さった方々本当にありがとうございました。是非、来年も桜蓮祭にお越しください。心よりお待ちしております。



よさこいサークル



自治会カフェ



玉こんにゃく バドミントンサークル



第16回 新潟県立看護大学

桜蓮祭

2017 11/4日 9:00-16:00

～地域を愛し、地域に愛される大学～

輪

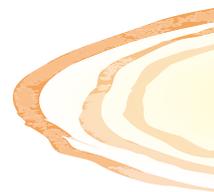
Live & イベント

おばたのお兄さん KEIGO

Miss NCN 開催!!

新潟県立看護大学

URL: <http://www.nigata-cn.ac.jp>





焼きそば フットサルサークル



肉まん・あんまん
バスケットサークル



からあげ 野球サークル



フラシクフルト バレーサークル

輪

～地域を愛し、
地域に愛される大学～



みなさん
ぜひ見に来てね



▲毎年好評の桜蓮祭グッズ



▲スペシャルゲスト おばたのお兄さん
「ま〜きの！」で会場大盛り上がり



▲2年ぶりに開催されたミスNCNコンテスト
(中央のお二人が見事グランプリに)

▲レシピコンテスト
学生から募集した「簡単おいしいレシピ」
ぜひ作ってみよう



▲桜蓮祭前日には、実行委員会の前夜祭として、
バンドサークル LIVE で気分を盛り上げます



▲スペシャルゲスト フレアバーテンダー KEIGO さん
華麗なるグラスとボトル捌きに拍手喝采



学内活動の様子

Campus activities

オープンキャンパス 8月5日、22日



大学のPRイベント「オープンキャンパス」が開催されました。今年も多くのお客様にご協力いただき、本学の魅力を十分にアピールしていただきました。

ウェルカムステージとして、よさこいサークルの演舞があり、課外活動の様子も見ていただきました。

各領域の特性の紹介に際しては、実際の演習を交えながら紹介する学生の姿を見て、来場された高校生からは「ぜひ入学したい」という感想が多く寄せられていました。



学生との意見交換会

12月21日

本学は、よりよい大学にするために「学生と教職員との意見交換」を毎年開催しています。

学生側は各学年・編入生から自治会役員やクラス委員が主として出席し、それぞれ取りまとめた意見を述べました。大学側としては、対応できることやなかなか難しいこと、検討や確認を要することなど、各意見に対し説明をしながら、学生の思いを受け止めました。





学外活動の様子

Extracurricular activities

新・上越市立水族博物館 愛称選考ワークショップ

7月15日

昨年、上越市では新・水族博物館の愛称を募集しました。多数の応募作品の中から、若者の感性を生かして愛称を検討してほしいという依頼があり、本学からは学生自治会を中心に16人がワークショップに参加しました。

同じく参加した上越教育大学の学生との交流を深めながら、より親しんでもらえる愛称について意見を出し合いました。

最終的に、愛称は「うみがたり」となり、新・水族博物館は本年6月にオープンするとのことです。本学学生にとっても、愛着のある水族博物館になるものと思います。



災害看護サークルの活動

8月6日ほか

災害看護サークルは、「地域住民とともに考える防災・減災について考え、活動するプロジェクト」と題して、市内の一つの町内会にご協力をいただき、「女性の視点で考える防災」や「高齢者の視点で考える防災」など計3回のシリーズで、住民の皆様と活動しました。クイズ、防災グッズの作成、災害時に心配なことを話し合ってみるなど、学生なりに工夫を凝らした内容でした。

参加された住民の方々からは、「身近な話が聞けて、いつもの防災訓練より勉強になった」などの感想が寄せられました。また、サークルメンバーも、町内の防災意識の高さにとても驚いたようです。



新潟県・上越市総合防災訓練

9月2日

本学をメイン会場として、新潟県と上越市が共同しての総合防災訓練が、マグニチュード6.8の直下型地震が発生したとの想定の下に行われました。

本学は、上越市指定避難場所となっていることから、教職員が避難して来られた近隣の住民の方々の受入対応訓練を行いました。

また、近くの河川敷では、建物が倒壊したという想定で、救助隊ががれきの中から住民を救出し、救護班が救護するという実践的な訓練も行われました。本学学生はその住民役として参加し、担架で運ばれたり救護されたりと、将来に繋がる貴重な体験をすることができました。



にいがた妙高はね馬国体ボランティア

2月25日～28日

妙高市で平成14年以来16年ぶりにスキー国体が開催（妙高エリアとしては6度目で全国最多）され、全国から1,800人の選手が参加されました。

本学の学生も開会式式典及び救護補助のボランティアとして5人が参加しました。

救護補助ボランティアでは、クロスカントリー競技に携わり、フィニッシュした選手に水分補給のイオンウォーターを渡したり、時には倒れ込む選手の救護を手伝ったりと看護大生らしく活躍してくれました。



30年度年間カレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春季休業（4月1日～3日） ガイダンス・健康診断 入学式・後援会総会（4月6日） （4月4日～5日） 前期授業開始（4月9日） 1年次生学外オリエンテーション（4月13日～14日）	開学記念日（5月8日）		継燈式（7月7日）	夏季休業（8月1日～9月30日） ※時間割の都合で授業が開催される場合があります。		後期授業開始（10月1日）	大学祭「桜蓮祭」（11月4日）	冬季休業（12月27日～1月4日）			卒業式（3月14日） 春季休業（3月15日～31日）

後援会の主な事業

会員相互及び大学との連携

総会を年1回、入学式当日に行い、毎年度の事業計画を決定します。年2回、「後援会だより」を発行し、学内での学生活動などを紹介しています。

学生自主活動推進事業

学生が自主的に運営している自治会、桜蓮祭（大学祭）、継燈式などへの助成を行います。

学生教育振興事業

1年次に購入する実習衣や各実習に伴う雑費などを補助します。

学生福祉増進事業

学生食堂及び売店への光熱水費等の補助を通して、食事や清涼飲料水等を低価格で学生に提供しています。
小児感染症抗体価検査や学外オリエンテーション費用などの一部を補助しています。

平成30年度新潟県立看護大学後援会総会

お知らせ

日時 平成30年4月6日（金） 入学式終了後 11:30～12:10

会場 本学第1・2ホール

新潟県立看護大学後援会

後援会事務局 お問合せ先
〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地 新潟県立看護大学 教務学生課
Tel 025-526-2811 Fax 025-526-2815 E-mail: togaku@niigata-cn.ac.jp